



第2学年通信

VOL.16

2017.5.2(火)

2年生が始まって1カ月になろうとしています。4月当初は、自らのバージョンアップを図ろうと決意を新たにしている様子がうかがえました。しかし、ここ最近緊張感が薄れてきていませんか？目の前の一つ一つの事柄に対し、雑になっていませんか？ゴールデンウィークに突入しましたが、ここで再度気持ちを立て直し、3週間後に迫った中間試験に備えてもらいたいと思います。

ところで、高校生活最大の挑戦である大学受験まで、あと何日あるか知っていますか？全員が受験することになるセンター試験で言うと、本日を除いてあと**626日**、1年と261日です。結構期間があると感じるかもしれませんが、だからこそ、**1日1日の過ごし方によって、受験本番時までの間に学力差が大きく開く**と言えます。ある大学進学情報紙に、そのことを如実に示すデータが載っていたので、紹介しておきます。

◎高校3年間の総学習時間比較（難関大現役合格者と不合格者）

①現役合格者	4050 時間（高1：764 時間、高2：1126 時間、高3：2160 時間）
②現役不合格者	3692 時間（高1：620 時間、高2：932 時間、高3：2140 時間）
差（①－②）	358 時間（高1：144 時間、高2：194 時間、高3：20 時間）

※難関大・・・旧帝大、一橋大、東京工業大、東京外大、早稲田大、慶応大など

TOSHIN TIMES 2016 年 5 月 1 日号より

このデータから何が分かるのでしょうか？それは、高1・2では両者に大きく差があるのに対し、高3ではほとんど差がないということです。このことから言えるのは、「**高3になってから追いつければ間に合う**」という考えは甘いということです。高3になれば、自分だけでなく誰もが本気モードになってペースを上げるのが当たり前の事実なのです。自分の前を走っている人たちも当然ペースを上げるのであり、ゆっくり待っていてくれるわけではありません。**難関大学を目指している人たちは、高1・高2のうちから意識して早めにスタートし、地道に学習を積み重ねている**という事実を肝に銘じておく必要があります。

さらにもう1点。本気で入りたい志望校はありますか？難関大現役合格者が志望校を決定した時期と理由に関してもデータが載っていましたので、あわせて紹介しておきます。

◎難関大現役合格者の志望校決定時期

高1：38.0%、高2：33.6%、高3の1学期：15.6%、高3の夏以降：12.8%

◎難関大現役合格者の志望校決定理由

学べる内容・カリキュラム：55.6%、設備・立地：52.3%、知名度：34.8%
キャンパス・学生の雰囲気：32.1%、偏差値と自分の成績とのバランス：25.7%

TOSHIN TIMES 2017 年 4 月 1 日号より

難関大現役合格者は、高1～高2の間に志望校を決定している人が多数派であり、高3になってからという人は3割弱であることが分かります。また、その時点での学力や偏差値よりも、自分が学びたい内容（カリキュラム）を重視したことも分かります。つまり、**明確な志望理由と高い志を早いうちに持てたことにより、本気モードのスイッチを早い時期に入れることができた**と言えるのではないのでしょうか。現時点での自分の実力より高い志望校を勝ち取るには、人より多く努力することが必要です。そうした努力を自分に課すためには、「**この大学に入りたい**」と**自分自身が本気で思うことが必要です**。将来を真剣に考える労を惜しまず、大学で学ぶ意味を2年生のできるだけ早い時期に見つけることが大切です。

2年生はまだ始まったばかりです。しかし、悠長に構えていると、あっという間に夏休みになり、2学期になり、そして3学期になって受験まで1年をきり、誰もが本気モードになります。自分が入りたいと思う大学は大抵、誰もが入りたい大学です。志望校を勝ち取るため、一日でも早く本気モードのスイッチを入れ、走り始めようではありませんか。

